

第8回葵区民スポーツ大会 要 項



「静岡型スポーツ・インライフ
いつでも、どこでも、だれでも、気軽に」

第8回葵区民スポーツ大会「ファミリーバドミントン」
令和6年7月14日（日）静岡市北部体育館

第8回葵区民スポーツ大会「大運動会」
令和6年10月20日（日）西ヶ谷総合運動場 陸上競技場

第8回葵区民スポーツ大会「スカイクロス」
令和6年11月10日（日）西ヶ谷総合運動場TBG・GG場

第8回葵区民スポーツ大会要項

1 趣 旨

静岡型スポーツ・イン・ライフ「いつでも、どこでも、だれでも、気軽に」をスローガンに、見て楽しい、やって楽しい、支えて楽しい葵区のスポーツ大会を通じて、スポーツ振興を図るとともに、葵区を元気にする。

2 期 日

- (1) 「ファミリーバドミントン」 令和6年 7月 14日 (日)
- (2) 「大運動会」 令和6年 10月 20日 (日) ※雨天時中止
- (3) 「スカイクロス」 令和6年 11月 10日 (日) ※雨天時中止

3 会 場

- (1) 葵区民スポーツ大会「ファミリーバドミントン」 静岡市北部体育館
- (2) 葵区民スポーツ大会「大運動会」 静岡市西ケ谷総合運動場 陸上競技場
- (3) 葵区民スポーツ大会「スカイクロス」 静岡市西ケ谷総合運動場ターゲット
バードゴルフ場・グラウンドゴルフ場

4 主催・主管・協力・後援

- (1) 主 催 静岡市
- (2) 主 管 葵区民スポーツ大会実行委員会
静岡市葵区自治会連合会
静岡市葵区スポーツ推進委員会
- (3) 会場協力 公益財団法人 静岡市スポーツ協会
- (4) 後 援 静岡市校長会 (予定)

5 競技種目

- (1) ファミリーバドミントン

- (2) 大運動会
 - ①長縄跳び
 - ②子ども玉入れ
 - ③玉入れ
 - ④スカイクロスリレー
 - ⑤8×100m リレー (予選・決勝)
 - ⑥綱引き
 - ⑦順送球

- (3) スカイクロス

6 参加選手について

- (1) 各学区においては、より多くの区民に参加していただくよう配慮するが、同一選手の複数種目参加については、それを認める。
- (2) 大運動会のうち、長縄跳びは3区（葵・駿河・清水）で定められた共通ルールで実施する。

また、子ども玉入れ、8×100mリレーを除く各種目については原則、一般（学生を除く）。但し、参加上限の3分の1を超えない範囲で中学生の参加を認める。

※詳細は別紙 種目要綱に記載。

7 大運動会採点方法

(1) 種目参加得点

競技種目に参加した学区に対しては種目参加得点（3点）を与える。

(2) 競技順位得点

順位に応じて下表の得点を与える。

順位	得点	順位	得点
1位	8点	2位	7点
3位	6点	4位	5点
5位	4点	6位	3点
7位	2点	8位	1点

※同順位の場合は、該当順位得点をたして÷同順位チーム数で得た点を、それぞれに与える。（例：（1位 8点+2位 7点÷2チーム）=7.5点）

※2チームが同点の場合

(3) 各種目の得点

各種目の得点は、種目参加得点と競技順位得点の合計とする。

(4) 総合得点

各種目の得点の総計を総合得点として、大運動会の順位を決定する。

同得点学区が出た場合は、競技種目において3位までの入賞数の多い学区を上位とする。これにより順位が決定しない場合、採点、集計にあたり、上記に該当しない事項が生じた場合は、本部担当において協議の上、決定する。

8 表彰

		優勝	準優勝	3位	4位～6位
ニュースポーツ		賞状・優勝杯	賞状	賞状	—
大運動会	種目別表彰	賞状・賞品	賞状・賞品	賞状・賞品	—
	総合得点表彰	賞状・優勝杯	賞状	賞状	賞状

第8回 葵区民スポーツ大会 「ファミリーバドミントン」要 項

- 1 主 催 静岡市
- 2 主 管 葵区民スポーツ大会実行委員会
静岡市葵区自治会連合会
静岡市葵区スポーツ推進委員会
- 3 期 日 令和6年7月14日（日）
受 付 8:30～ 開会式 9:00 競技開始 9:15
- 4 会 場 静岡市北部体育館
- 5 参 加 者 静岡市葵区に在住する男女で、同じ学区（または地区）内で編成したチームであること。
- 6 チーム編成 (1) 学区（地区）1チームとし、試合中コート内は、女性または小学生を含むこととする。
(2) 各チームの選手は、**最低6人、最大9人**まで登録することができる。
(3) 選手は、No.1～9の番号のピブス（またはゼッケン）を着用するが、出場する際のピブス番号は、順不同で構わない。
(4) 第1セット、第2セットごとにメンバーを変えること。ただし、第3セットは自由とする。
(5) 6人未満となり試合続行が出来なくなった場合は**失格**とする。
- 7 競技規則 (1) 2017年度改訂版日本ファミリーバドミントン協会ルールを原則とする。
(2) 一部ローカルルールを適用する。
- 8 競技方法 (1) 予選リーグを行い、各コートの1, 2位により、決勝トーナメントを行う。（参加チーム数によって変更があります）
(2) 1セット15点のラリーポイント制とする。予選は2セットマッチとし、決勝は3セットマッチとする。
(3) 予選の順位決定方法に勝ち点制を採用する。
 - ・セットカウント2-0（勝ち） ⇒ **勝ち点3**
 - ・セットカウント1-1（引き分け） ⇒ **両チーム勝ち点1**
 - ・セットカウント0-2（負け） ⇒ **勝ち点0**【ただし、次の場合は以下のように順位を決定する】
 - 1、勝ち点合計が同点の場合 ⇒ **得失点で順位を決定**
 - 2、得失点も同点の時 ⇒ **抽選で順位を決定**
- (4) **1セット7分経過で同点の場合、あと1点で勝敗を決める。**
- 9 使用器具 各チームラケットと新羽球2個持ち寄りとする。
- 10 組 合 せ 主催者の責任抽選とする。令和6年6月4日（火）実施予定。
- 11 申込方法 (1) 申込期日 **令和6年5月24日（金）必着**
(2) 申込先 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
静岡市観光交流文化局スポーツ振興課
TEL 054-221-1038 FAX 054-221-1453
- 12 表 彰 A、Bグループ 各優勝～第3位
- 13 服 装 (1) 運動のできる服装 体育館シューズ
(2) No.1～9の番号を使用すること。
(ピブス（またはゼッケン）に学区（地区）名が書かれたものを使用すること）
- 14 その他 (1) 大会当日の傷害保険は主催者が加入します。
(2) 全チーム予選リーグを行うので、開会式には必ず参加すること。
(3) 原則、審判は参加選手で行うが、人手が不足した場合はスポーツ推進委員で補助を行う。
(4) メンバー表は、大会当日受付へ提出すること。

第8回 葵区民スポーツ大会 「スカイクロス」 要 項

- 1 主 催 静岡市
- 2 主 管 葵区民スポーツ大会実行委員会
静岡市葵区自治会連合会
静岡市葵区スポーツ推進委員会
- 3 期 日 **令和6年11月10日（日）**
受 付 8：00～ 開会式 8：30～
※雨天中止の場合、6：00～6：30の間に学区代表スポーツ推進委員を通じて、
申込責任者へ連絡する。
※台風等天候の状況によっては、事前に中止を決定する場合があります。
※開催有無の問合せ先は葵区役所（代表254-2111）
- 4 会 場 静岡市西ケ谷総合運動場ターゲットバードゴルフ場・グラウンドゴルフ場
- 5 参 加 者 静岡市葵区に在住する男女で、同じ学区内（または地区内）で編成したチームであること。
- 6 チーム編成 (1) 学区（または地区）4人1チームとする。男女は問わない。
(2) 各チームの選手は、**最低4人、最大8人**まで登録することができる。
ただし、選手の交代は、ケガ等の場合を除き、ラウンド終了後のみ行うことができる。
- 7 競技規則 (1) 日本スカイクロス協会制定の「ソフトゴルフ競技規則（2005）」を準用する。
(2) 一部ローカルルールを適用する。
- 8 競技方法 (1) 2ラウンド（1ラウンド7ホール）行い、学区の4人の合計スコアで競う。
(2) 1ラウンド終了後、選手交代をすることができる。
(3) 審判員（競技リーダー）・記録員は、スポーツ推進委員が担当する。
(4) ①順位は、合計スコアが少ないチームを上位とする。
②同数の場合、一番乗り数が多いチームを上位とする。
③さらに同数の場合、乗られた回数の多いチームを上位とする。
ただし、途中で選手交代を行った場合は、交代前の選手とその選手と交代した選手のスコアを合算して14ホールのスコアとする。
④それでもなお順位が決定しない場合は、大会本部で協議する。
(5) その他の競技に関することについては、大会役員で協議し決定する。
- 9 使用用具 (1) コーンは、主催者側で用意する。
(2) リングは、各学区で持参し、当日受付にてNOの確認を行う。
※リングがない学区（地区）は、申し込みの際に事前に連絡することで、リングを借用することができる。
- 10 対戦組合せ 主催者の責任抽選とする。令和6年6月4日（火）実施予定。
- 11 申込方法 (1) 申込期日 **令和6年5月24日（金）必着**
(2) 申込先 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1
静岡市観光交流文化局スポーツ振興課
TEL 054-221-1038 FAX 054-221-1453
- 12 表 彰 A、Bグループ 各優勝～第3位
- 13 服 装 運動のできる服装で、学区（地区）名入りビブス（またはゼッケン）を必ず着用すること。
- 14 そ の 他 (1) 大会当日の傷害保険は主催者が加入します。
(2) 最終決定メンバー表は大会当日、受付時に提出すること。
(3) 当該チームの第一試合開始時に、学区（地区）名入りビブス（またはゼッケン）を着用できない場合、原則として勝ち点無しオープン参加とする。
(4) 参加学区（地区）が少ない場合は、午前のみで行う等の時間調整をする場合があります。別途、スポーツ推進委員を通じてお知らせします。

長 縄 跳 び

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、16歳以上で中・高・大学生を除く。但し、男女各3名以内の中学生以上の参加を認める。
- (2) 各学区(地区)1チーム。学区・地区名の入ったビブス(ゼッケン)をつけること。
- (3) 競技参加者は18名で、男性8名、女性8名、縄回し手2人で構成すること。
縄回し手については、男女を問わない。

2 競技方法(3ゾーン複数組に分かれ、一斉に競技を行う。)

- (1) 制限時間3分のうちに、引っ掛からずに連続して跳べた回数を競う。(制限時間内なら何度でも挑戦可能。)
- (2) 連続して跳べていても、制限時間がきたらその時点の回数が記録となる。
- (3) 最高回数記録で競う。同記録のチームが出た場合、2番目に多く跳べた記録と比較する。それでも同じ場合は、3番目、4番目・・・と比較し、順位を決定する。
- (4) 長縄は主催者の用意するものを使用する。(長さ15m、太さ9mm、柄の長さ75cm)
- (5) 縄回し手は、チーム内で交代することができる。

3 種目得点

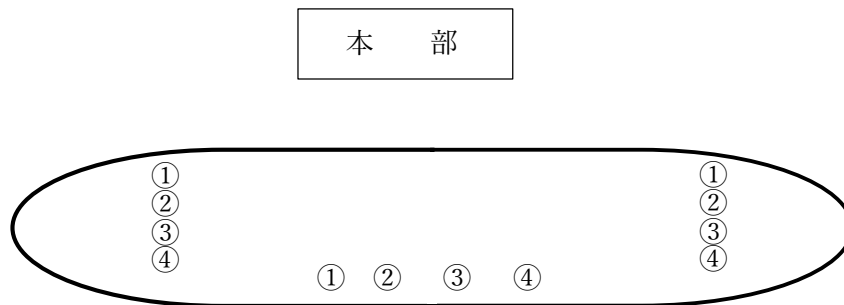
1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

4 その他

- (1) 組み合わせについては、担当部会の責任抽選とする。
- (2) 陸上競技スパイク・サッカー用シューズ・地下足袋・裸足での参加は禁止する。
(一般的な運動靴で参加すること)
- (3) その他定めのない事項が発生した場合は、役員協議のうえ決定する。

競技位置図



子ども玉入れ

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、小学生以下。学年や男女は問わない。
- (2) 各学区（または地区）1チーム。学区・地区名の入ったビブス（ゼッケン）をつけること。
- (3) 競技参加者は最大20名までなら、何人でも参加できる。

2 競技方法(3ゾーン複数組に分かれ、一斉に競技を行う。)

- (1) 1分間に投入した玉の数を競う。
- (2) 玉数は100個、かごの高さは3m05cm、かごの口径は36cmとする。
- (3) スタートの合図までに、玉を持ち準備。合図で投げ入れる。
- (4) ピストルの合図で終了とする。その際、空中にある玉がかごに入ったときはカウントされる。
- (5) 全員で楽しく投げること。

3 種目得点

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

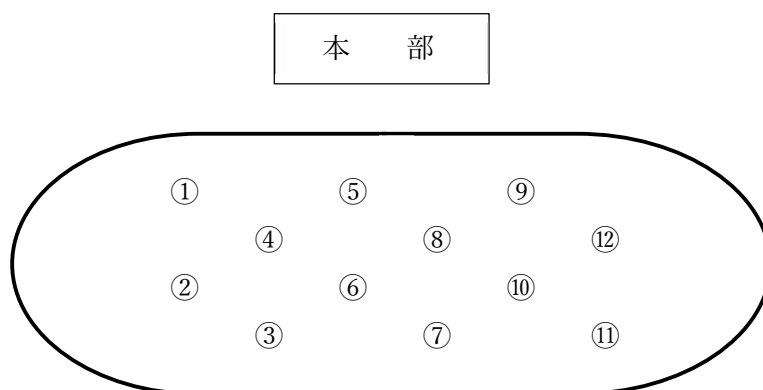
※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

同点の場合は、同順位として得点の和を案分する。

4 その他

- (1) 組み合わせについては、担当部会の責任抽選とする。
- (2) 陸上競技スパイク・サッカー用シューズ・地下足袋・裸足での参加は禁止する。
(一般的な運動靴で参加すること)
- (3) その他定めのない事項が発生した場合は、役員協議のうえ決定する。

競技位置図



玉 入 れ

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、一般（小中高生及び大学生は除く）ただし、種目参加上限（20人）の3分の1を超えない範囲で中学生の種目参加を認める。
- (2) 各学区（または地区）1チーム。学区・地区名の入ったビブス（ゼッケン）をつけること。
- (3) 競技参加者は20名で、男性10名、女性10名で構成すること。
- (4) 構成人数が揃わない場合は、男女とも規定人数以下での参加を認める。

2 競技方法(3ゾーン複数組に分かれ、一斉に競技を行う。)

- (1) 1分間に投入した玉の数を競う。
- (2) 玉数は100個、かごの高さは4m15cm、かごの口径は36cmとする。
- (3) スタートの合図までに、1人5個玉を持ち準備。合図で投げ入れる。
- (4) ピストルの合図で終了とする。その際、空中にある玉がかごに入ったときはカウントされる。

3 種目得点

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

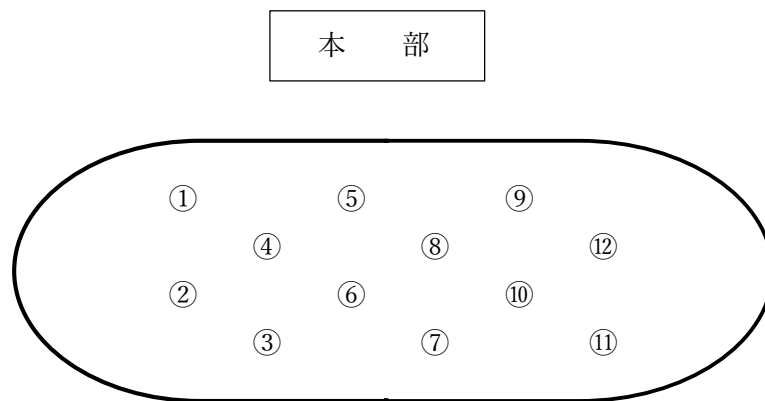
※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

同点の場合は、同順位として得点の和を案分する。

4 その他

- (1) 組み合わせについては、担当部会の責任抽選とする。
- (2) 陸上競技スパイク・サッカー用シューズ・地下足袋・裸足での参加は禁止する。
(一般的な運動靴で参加すること)
- (3) その他定めのない事項が発生した場合は、役員協議のうえ決定する。

競技位置図



スカイクロスリレー

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、一般及び小学生（中高生及び大学生は除く）ただし、種目参加上限（10人）の3分の1を超えない範囲で中学生の種目参加を認める。
- (2) 各学区（または地区）1チーム。学区・地区名の入ったピブス（ゼッケン）で、走者順に1番から10番をつけること。
- (3) 競技参加者は10名で、男女を問わない。

2 競技方法(3ゾーン複数組に分かれ、一斉に競技を行う。)

- (1) タイムレース形式で行う。
- (2) 参加学区は、5名ずつ2つに分かれ、各スタートラインに対して横一列に並び、
- (3) 本部側は第1、3、5、7、9走者 掲揚台側は第2、4、6、8、10走者とする。
- (4) 35m 先のコーン目がけてリングを投げ、コーンに入らなかった場合、リングの落地点に移動し、そこから自チームのコーンに投げる。それを入れるまで繰り返す。
- (5) リングを投げるとき、目標のコーンに向かって原則、1度静止した状態で投げる。
(反則した場合、5秒加算)

※リングを投げる際の踏み込みは一步まで認めることとする。

- (6) コーンに入ったら、コーンからリングを取り出し、5m先のバトンゾーンに待機する次走者に渡す。アンカーはゴールラインまで走りきる。
- (7) リングの投げ渡しは、禁止とする。(反則した場合、5秒加算)
- (8) 観客席等に入った場合、観客または他者の助けを借りていいが、タイムには加算される。
- (9) 次走者へ手渡すリングを落とした場合は、渡す走者が拾うこと。(反則した場合、5秒加算)

3 種目得点

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

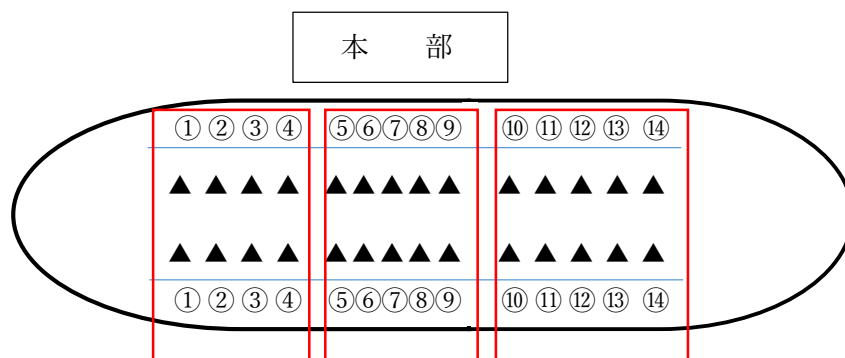
※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

同タイムの場合は、同順位として得点の和を案分する。

4 その他

- (1) 組み合わせについては、担当部会の責任抽選とする。
- (2) 陸上競技スパイク・サッカー用シューズ・地下足袋・裸足での参加は禁止する。
(一般的な運動靴で参加すること)
- (3) その他定めのない事項が発生した場合は、役員協議のうえ決定する。

競技位置図



8 × 1 0 0 m リレー

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、一般及び小学生（中高生及び大学生は除く）
- (2) 各学区（または地区）1チーム。学区・地区名の入ったピブス（ゼッケン）で、走者順に1番から8番をつけること。
- (3) 競技参加者は8名で、小学生男女2名ずつ、一般男女2名ずつで構成すること。

2 競技方法（競技順は、A→B→Cゾーンとする）

- (1) 予選、決勝を行う。
- (2) 予選は、各ゾーン2組に分けて行う。各組上位4位（着順）までを予選通過とする。
（※参加学区数に応じて予選通過順位を調整する。）
- (3) 決勝は、各ゾーン1組。1位～8位までの順位を決定する。
（※順位及び種目得点は、予選通過学区数に応じて調整する。）
- (4) 1人100mを走り、トラック2周（800m）を8走で競う。
- (5) 出走順は、次のとおりとする。
①走：小学生男 ②走：小学生女 ③走：小学生男 ④走：小学生女
⑤走：一般女 ⑥走：一般男 ⑦走：一般女 ⑧走：一般男
- (6) ①～③走者はセパレートコース、④走者以降はオープンコースとする。
- (7) バトンタッチはリレーゾーン内とする。（バトンを投げての受け渡しは失格とする。）
- (8) バトンを落とした場合は、渡す走者が拾うこと。（渡される走者が拾った場合は失格とする）
- (9) 予選・決勝とも出場選手は自由とする。

3 種目得点（※予選通過学区数に応じて得点を調整する）

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

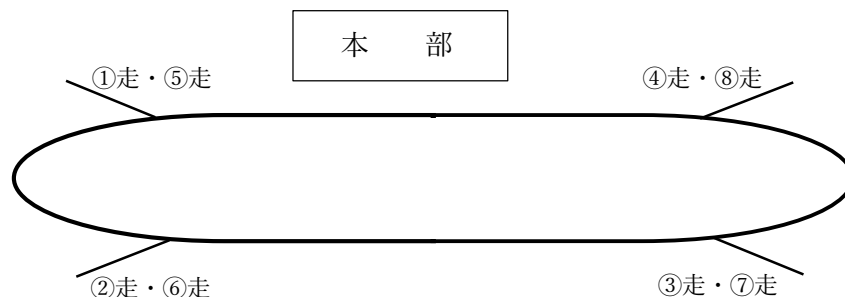
※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

同着の場合は、同順位として得点の和を案分する。

4 その他

- (1) 陸上競技スパイク・サッカー用シューズ・地下足袋・裸足での参加は禁止する。
（一般的な運動靴で参加すること）
- (2) その他定めのない事項が発生した場合は、役員協議のうえ決定する。

競技位置図



綱 引 き

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、一般（小中高生及び大学生は除く）ただし、種目参加上限（20人）の3分の1を超えない範囲で中学生の種目参加を認める。
- (2) 各学区（または地区）1チーム。学区・地区名の入ったビブス（ゼッケン）をつけること。
- (3) 競技参加者は20名で、男性10名、女性10名で構成すること。
- (4) 構成人数が揃わない場合は、男女とも規定人数以下での参加を認める。

2 競技方法(3ゾーン複数組に分かれ、一斉に競技を行う。)

- (1) ゾーンごとのトーナメント戦とし、各ゾーン決勝、準決勝、3位決定戦まで行う。
- (2) 全ての試合を1回戦で行い、各回戦は30秒とする。
- (3) 勝敗は、綱の中間点が決勝線に達した時をもって判断する。(30秒にこだわらない)
- (4) 30秒経過しても綱の中間点が決勝線に達しないときは、中央線よりいっくらかでも引き勝ったチームの勝ちとする。



- (5) 1回勝負で決しない場合（綱の中間点が中央線上の時）は、チーム代表1名によるジャンケンで勝敗を決する。
- (6) 最後尾の選手はヘルメットを着用すること。
- (7) 応援者は4人以内とし、応援旗のみ使用可とする。

3 種目得点

1位	2位	3位	4位	5位（4チーム）
8点	7点	6点	5点	2.5点

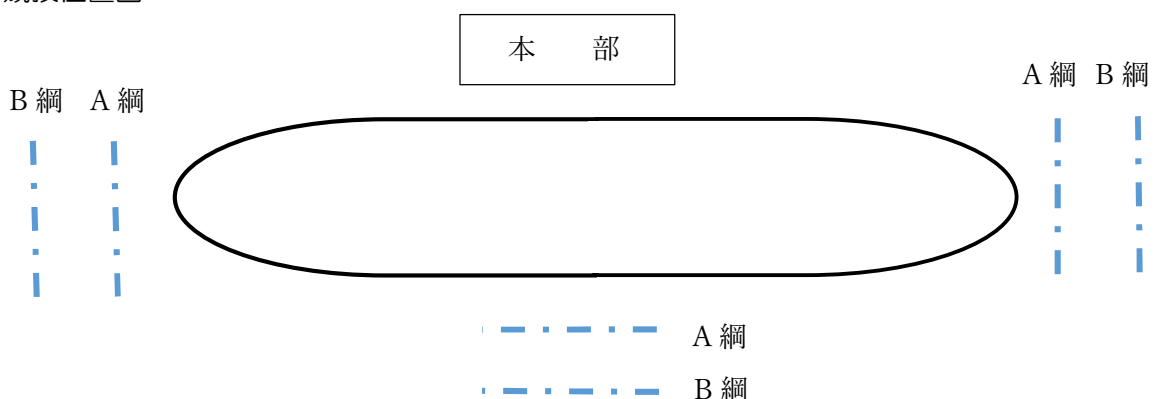
※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

同点の場合は、同順位として得点の和を案分する。

4 その他

- (1) 組み合わせについては、担当部会の責任抽選とする。
- (2) 陸上競技スパイク・サッカー用シューズ・地下足袋・裸足での参加は禁止する。
(一般的な運動靴で参加すること)
- (3) 軍手を含む手袋等の着用は禁止する。(素手で競技を行うこと)
- (4) その他定めのない事項が発生した場合は、役員協議のうえ決定する。

競技位置図



順 送 球

1 競技参加について

- (1) 参加対象は、小学生及び一般（中高生及び大学生は除く）ただし、種目参加上限（10人）の3分の1を超えない範囲で中学生の種目参加を認める。
- (2) 各学区（または地区）1チーム。学区・地区名の入ったピブス（ゼッケン）で、走者順に1番から10番をつけること。（本部側から、10番から降順に並び）
- (3) 競技参加者は10名で、男女を問わない。

2 競技方法（3ゾーン複数組に分かれ、一斉に競技を行う。）

- (1) タイムレース形式で行う。
- (2) 順送球のボールは、ラグビーボール（ゴム製 4号球）を使用する。
- (3) 参加選手は1列に並び。
- (4) 先頭から順に後方へボールを渡す（パスも可）
- (5) 一番後ろまでボールが送られたら、一番後ろの選手は、ボールを持って後方のコーンを回り、前方のコーンを回って、列の先頭につく。
- (6) 以降、(3)(4)を繰り返す。
- (7) ボールを渡す際に落とした場合、渡す人ももらう人のどちらかがボールを拾い、その場から、再開する。
- (8) アンカー（No.10）は、後方のコーンを回ったら、前方コーン側にあるゴールラインをボールが越し、トライ（ボールを持ったまま地面につける）する。
- (9) 選手がコーンを回りそびれた場合、審判がやり直し（回り直し）させる。

3 種目得点

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

※競技種目に参加した学区には、参加得点として3点が加算される。

同タイムの場合は、同順位として得点の和を案分する。

競技位置図

